

臨 床

赤ミミズ酵素サプリメント使用臨床医のコメント集

※書籍「よごれた血管がキレイになる赤ミミズ酵素―

10人の医師が証言する健康回復のすごい力」より抜粋

◎腎機能

(116 ページ～117 ページ)

腎機能低下が進行してきた人に赤ミミズ酵素を(症例)

松野晋太郎 医師

なかでも松野先生が赤ミミズを評価しているのは、腎機能を改善してくれるところです。認知症の患者さんには、糖尿病もある人が少なくありません。もともと認知症のリスクを高める生活習慣というのは、そのまま糖尿病のリスクでもあるからです。

糖尿病は血液中に不要な糖がタンパク質とくっついて、それが血管を痛めつけるために、腎症、網膜症、心筋梗塞などの合併症を起こしやすくなります。いずれも寿命を縮める重大な疾患ですが、糖尿病性腎症から腎不全となって透析が必要になると患者さんや家族はさらに大変なことになります。

これを食い止めるのに、赤ミミズがよいというのです。

「いま、クレアチニンの値が1を超えるようになった6名の患者さんが赤ミミズ酵素サプリメントを飲用しています。なぜ赤ミミズなのかというと、腎機能低下は治す薬がないので薬では治らないからです。悪くなるしかないのです」

何例か、飲用後のクレアチニン数値の変化のデータを紹介していただきました。

「たとえば、78歳のアルツハイマーの男性。2018年5月にクレアチニン1.48だった方が、赤ミミズを飲用して1年後には1.21でした。栄養も含めて総合的に指導していますから赤ミミズだけの効果とはいえないかもしれませんが、このような改善はかなりまれだと思います。

77歳の男性、この方もアルツハイマー型認知症ですが、2017年6月にクレアチニンが2.66でした。かなり悪くて、こうなると治療しても悪くなる一方ということが多いのです。翌年4月にさらに2.85と上がってきたので、家族とも相談して赤ミミズ酵素サプリメントを飲むことにしました。すると、2019年7月には2.60に下がってきた。進行を食い止められたかな、という方です。

87歳、脳血管性認知症の女性。初診は2017年8月で、クレアチニンは1.98でした。そのときから赤ミミズの飲用を始めて、少しずつ改善していきました。1年9か月後の2019年5月には1.16。2年弱ですが、長期的に少しずつ改善してこんなに良くなることって、まずないんですね。

それから88歳の女性、糖尿病の方です。糖尿病性腎症ですが、2018年10月にクレアチニンが1.64で、8か月後の翌年6月が1.37です。糖尿病もよくなっていますし、

腎機能も改善しています。糖尿は血管病ですから、赤ミミズの効果期待できると思います」